三脚脚立

取扱説明書

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。
ご使用前には必ず、この取扱説明書を **よくお読みいただき、事故が起こらないよう、内容にしたがって正しくお使いください。**
また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ**大切に保存**してください。

- **脚立は、正しく使われていないと転倒や転落の危険があります。お使いになるときは、脚立の安定した状態を確認してください。**
- **脚立は昇降面の左右方向に転倒しやすいので、十分注意してお使いください。**
- **2m以上の高所での作業時は、ヘルメットと安全帯を着用してください。**
- **この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。**

もくじ

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている⚠マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

⚠危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

⚠警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

⚠注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。

このマークは、禁止（してはいけないこと）を示します。

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

〈絵表示について〉

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。

感電注意

持ち運びや移動･設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。

天板の上に のること禁止 またがること禁止 すわること禁止

バランスをくずして、転倒や転落の危険があることを示します。

開き止め（チェーン等）の掛け忘れに注意

開き止め（チェーン等）を掛け忘れて使うと脚が開き、転倒や転落の恐れがあることを示します。

ここにのること禁止

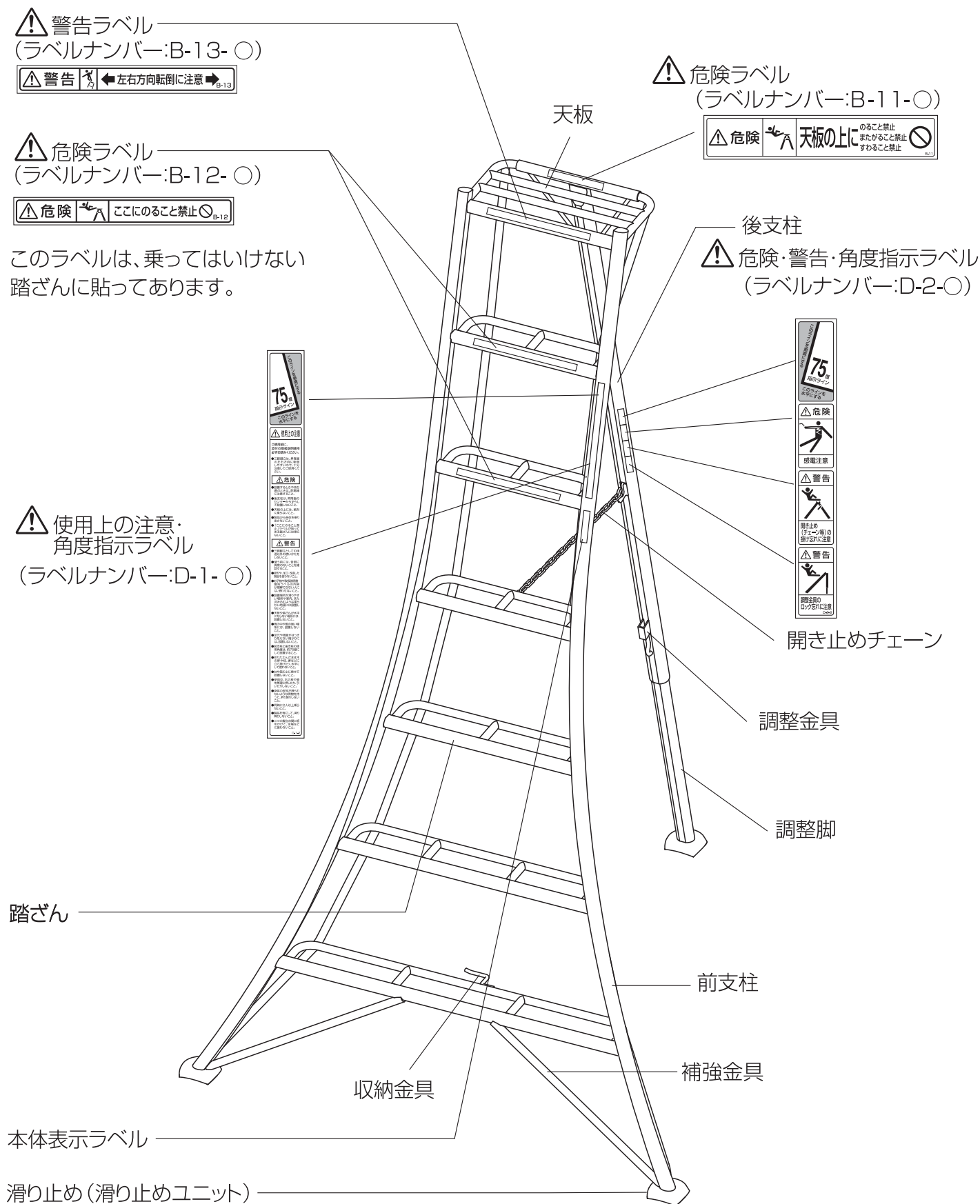
バランスをくずして、転倒や転落の危険があることを示します。

左右方向転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。

調整金具のロック忘れに注意

ロックされていないと、後支柱が縮み、脚立が転倒し、破損や傷害事故の恐れがあることを示します。

各部のなまえ

※ 1.ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバーをご連絡ください。
2.ラベルナンバーはラベルの右下に記載されています。
3.ラベルナンバーの○は、改訂ナンバーです。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1.使用条件について

⚠警告 脚立としての用途以外の使いかたをしないでください。

禁止

この製品は、造園作業を行うためのものです。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

⚠警告 この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。

強制

体重と荷物の合計質量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。
また、荷物はバランスの保てる程度の大きさや重さにしてください。

⚠警告 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

禁止

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告 脚立を加工や改造しないでください。

禁止

重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠注意 身体が下記の状態のときは、使わないでください。

禁止

●疲れているとき
●薬やお酒を飲んだとき
●病気や妊娠しているとき
●身体に異常を感じるとき

身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

禁止

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せ、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。
※ラベルを取り寄せるときは、ラベルのナンバー（2ページを参照）をご連絡ください。

注意 この製品を人に貸すときは、取扱説明書も共に貸し出してください。

強制

取扱説明書には、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、よくご理解のうえ使うように指導してください。

注意 使用に適した服装で使ってください。

強制

製品に引っ掛かったり、すそを踏みつける恐れのある服装で使用しないでください。

2.ご使用になる前に

警告 使う前には、必ず「ご使用前の点検（10・11ページ参照）」を行い、異常のないことを確認してください。

強制

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります。

警告 変形した脚立を使わないでください。

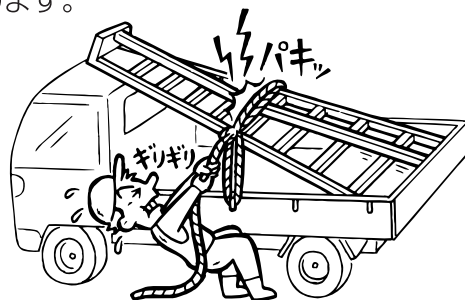
禁止

この製品はアルミ製です。曲がったアルミ材は曲げ直すと強度がいちじるしく低下します。したがって、変形した製品を修理して使いますと、容易に折れたり曲がったりして、重大な事故の原因になります。

3.運ぶときは

注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。

禁止

製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。

注意 持ち運ぶときは、引きずったり、投げたり、乱暴に扱わないでください。

禁止

乱暴に扱うと、変形やへこみ・破損の原因になります。

注意 持ち運ぶときに、後支柱を持たないでください。

禁止

後支柱が変形する恐れがあります。

⚠注意 持ち運びや設置のときには、滑り止め（滑り止めユニット）の突起に注意してください。

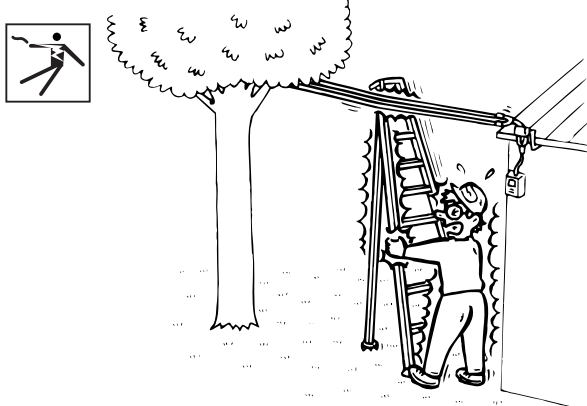
禁止

人や物を傷つける恐れがあります。

4.設置する場所について

⚠危険 設置するときや持ち運ぶときは、配電線に注意してください。

強制

この製品は電気を通しますので、配電線に触れると感電し、重大な事故につながる危険があります。

⚠警告 設置面が沈み込むような柔らかい地面では、設置しないでください。

禁止

脚立が傾いて、転倒や転落する恐れがあります。

⚠警告 脚立が滑りやすい場所や室内には、設置しないでください。

禁止

設置場所が下記の状態では、転倒や転落の恐れがあります。

- ●滑りやすいタイル・鉄板・敷石・コンクリート・アスファルトの上。
- ●積雪や凍結した場所。
- ●砂・ごみ・ほこり・落葉などで滑りやすい場所。
- ●その他、滑りやすい場所。

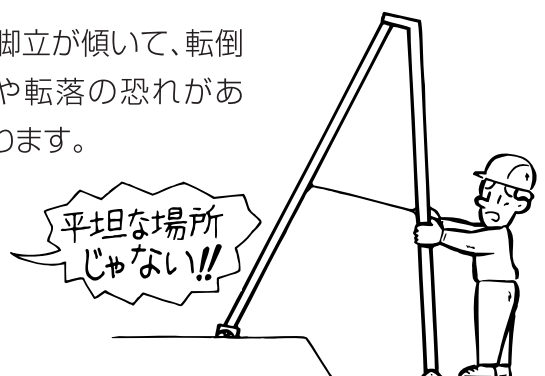
⚠警告 天板や踏ざんが水平にならない場所には設置しないでください。

禁止

安定が確保できないため、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 後支柱の長さが調整できないタイプは、傾斜地・段差、凹凸のある場所には設置しないでください。

禁止

脚立が傾いて、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 落雷の恐れがあるときは、使わないでください。

使用中の場合は、脚立を地面に倒し、近づかないでください。落雷による事故の恐れがあります。

⚠注意 周囲に危険なものがある場所や、頭上に障害物のある場所には設置しないでください。

転倒や転落の恐れがあります。

5.設置するとき

⚠危険 後支柱は、昇降面のセンターからずらして設置しないでください。

後支柱の設置位置は、昇降面のセンターの位置に設置してください。守らないと、転倒や転落の危険があります。

⚠警告 前支柱と後支柱の使用角度は、約75度にして設置してください。

安定が確保できないため、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 強制

開き止め（チェーン等）が確実に掛かっていることを確認してください。

開き止め（チェーン等）を掛け忘れて使うと脚が開き、転倒や転落の恐れがあります。

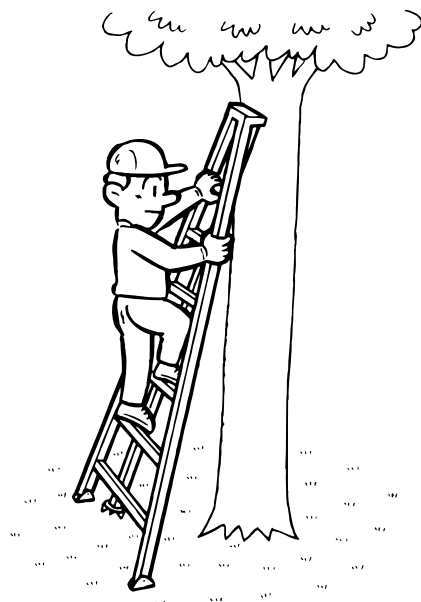
⚠警告

後支柱の長さが調整できるタイプは、調整金具が確実にロックされていることを確認してください。

ロックされていないと、後支柱が縮み、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告

脚立を折りたたんだままま、木の幹や枝、塀などに立て掛けたり、水平にして使わないでください。

不安定な使用のため、バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告

可動式の滑り止め（滑り止めユニット）は正しく設置してください。

安定が確保できないために、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告

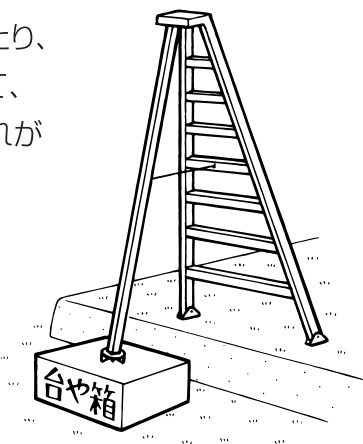
禁止

脚立を高くするために、脚立にパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せたりしないでください。

つなぎ目が折れたり、台や箱が移動して、転倒や転落の恐れがあります。

6.昇り降りや作業をするとき

⚠危険

禁止

天板の上には、絶対に乗ったり、座ったり、またがったりしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。

⚠危険

禁止

「ここにのること禁止」のラベルが貼ってある踏ざん（16ページ）参照には、乗らないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。

⚠危険

禁止

脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告

禁止

使用中、脚立の上で木の枝や物を無理に押したり引いたりしないでください。

無理に押したり引いたりすると、反動で脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。
チェーンソーやトリマーなど身体の安定が得られない道具は、使用しないでください。

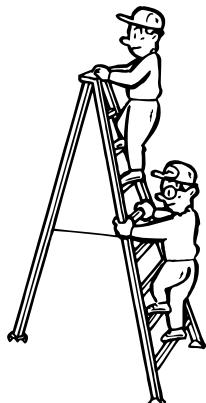
⚠警告

禁止

身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

⚠警告 同時に2人以上乗らないでください。

脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 脚立を背にしたり、手放しで昇り降りしないでください。

身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

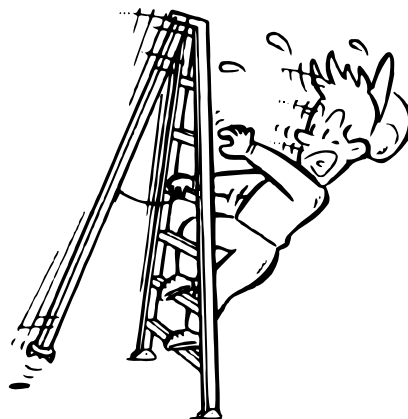
⚠警告 二つの脚立の間に板をかけて、足場などに使わないでください。

踏ざんなどが破損したり、脚立が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 脚立に荷物や収穫物の入ったカゴや袋などをかけないでください。

脚立のバランスがくずれて、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 昇降するときや作業するときに、脚立の上で身体を反らせるような状態で、後ろに体重をかけないでください。

後支柱が浮き、折りたたまれて、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 脚立は慎重に昇り降りし、脚立の途中から、飛び降りたりしないでください。

傷害事故の恐れがあります。降りるときは、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

ご使用前の点検

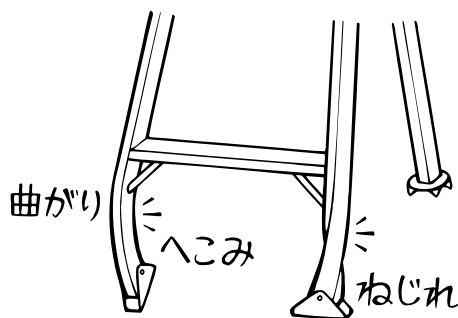
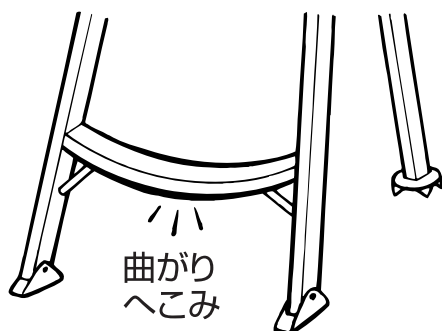
脚立をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置できるものは、正しい処置をした後に使用してください。

はじめてお使いになるときに

梱包の開封後、滑り止め（滑り止めユニット）に発泡スチロールが付いている場合は、必ず取り外してください。

1.目で見て、下記の点検をしてください。

❶踏ざんにグリース･油･泥･雪･水･ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。（17ページ参照）

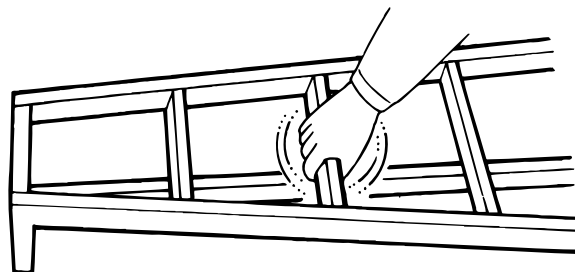
❷支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。
ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❸踏ざんに曲がり･へこみがありませんか。
ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❹各部の接合部や溶接部に割れやいちじるしい腐食がありませんか。
ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

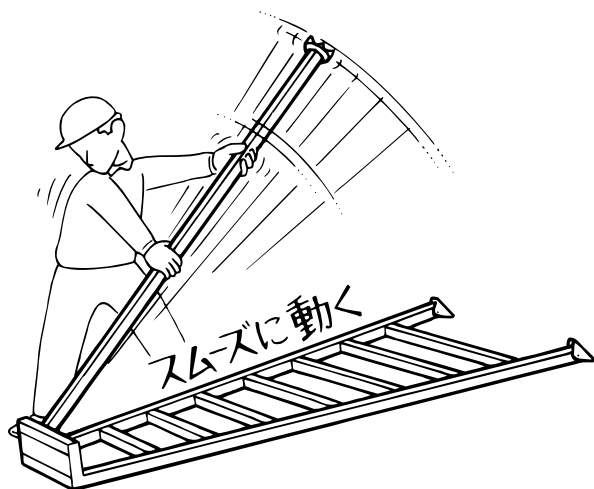
❺調整金具の部分･開き止め（チェーン等）や収納フックの破損･脱落･変形･摩耗･いちじるしい腐食がありませんか。
ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❻リベット･ねじ･ピンなどのゆるみや抜け落ちがありませんか。
ある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❼滑り止め（滑り止めユニット）が外れたり、すり減ったりしていませんか。外れたり、すり減ったりしている場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

2.下記の箇所を触って点検をしてください。

❶各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

3.支柱を開閉して、下記の点検をしてください。

❶スムーズに開閉できますか。
スムーズに開閉できないときは、可動部に泥やごみなどの異物の噛み込みがないか点検し、あれば取り除いてください。

❷可動部にゆるみやガタツキがありませんか。
ガタツキがある場合は、部品のゆるみや外れが考えられますので、**絶対に使りない**で廃棄してください。

❸開き止め（チェーン等）が確実に掛けることができますか。
確実に掛けることができない場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

❹調整金具が確実にロックできますか。
確実にロックできない場合は、**絶対に使わない**で廃棄してください。

脚立の使いかた

1.設置場所について

●滑りにくい場所や脚立が埋もれない安定した場所を選んで設置してください。
●脚立の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で使える位置に設置してください。

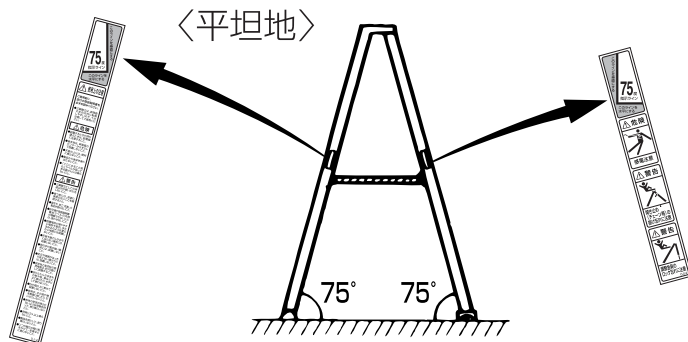
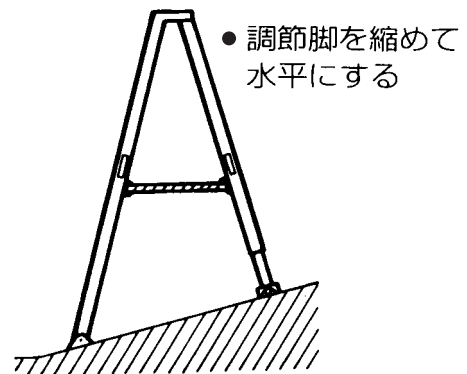
2.脚立にするとき

脚立が3m以上や重い場合は、2人で行ってください。

❶脚立を折りたたんだ状態のまま、地面に寝かせて置いてください。後支柱に収納金具がある製品は、収納金具から外します。

❷後支柱の長さが調整できるタイプは、後支柱を持って、後支柱の長さを前支柱の長さとほぼ同じにし、調整金具で調整脚の固定を確実に行ってください。

❸脚立の天板を持ち上げて、踏ざんを持ち変えながら起した後で、脚立を開いて立ててください。

❹前支柱と後支柱が、それぞれ約75度になるようにして、脚立を設置してください。
後支柱の長さを調節できるタイプは、後支柱の長さを調節し、調整金具でロックしてください。75度の目安は、支柱に貼ってある「75度指示ライン」を、水平・垂直になるように調整してください。

❺このとき、後支柱の位置は、昇降面のセンターにくるよう設置してください。

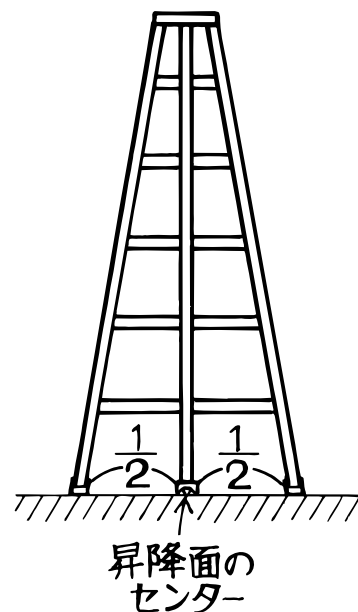
❻開いた脚立は、開き止め（チェーン等）を掛け、開き止め（チェーン等）を張った状態で固定します。

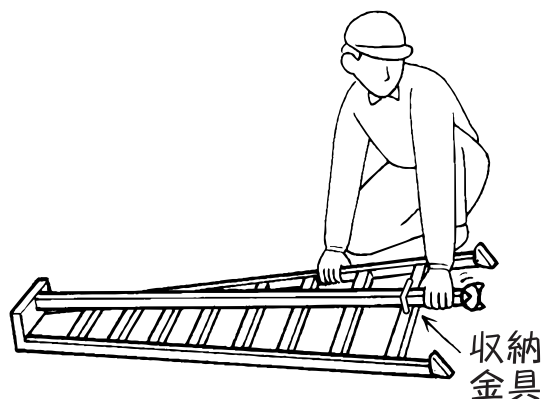
3.脚立をたたむとき

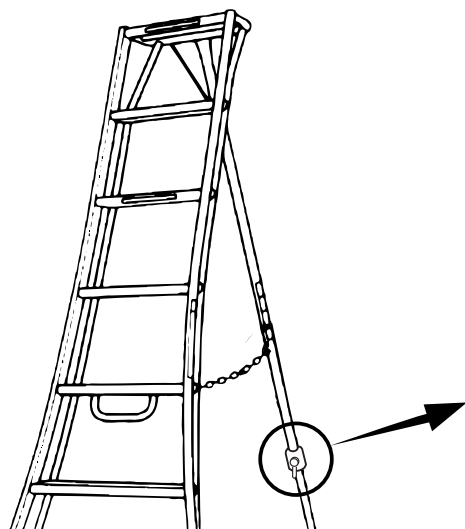
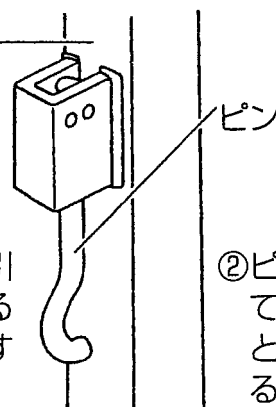
脚立が3m以上や重い場合は、2人で行ってください。

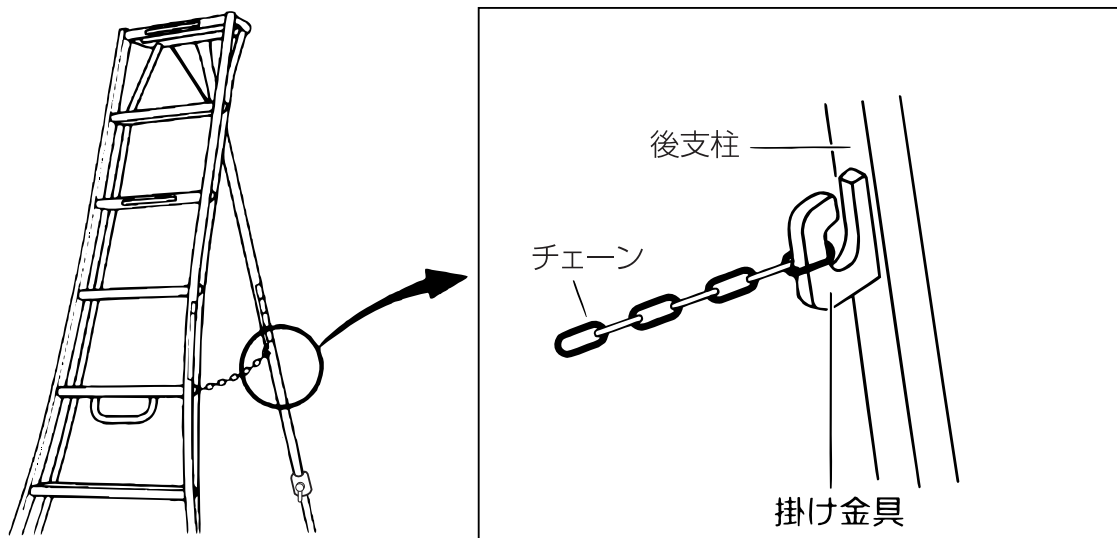
❶両手で支柱を持ち、静かに折りたたみます。

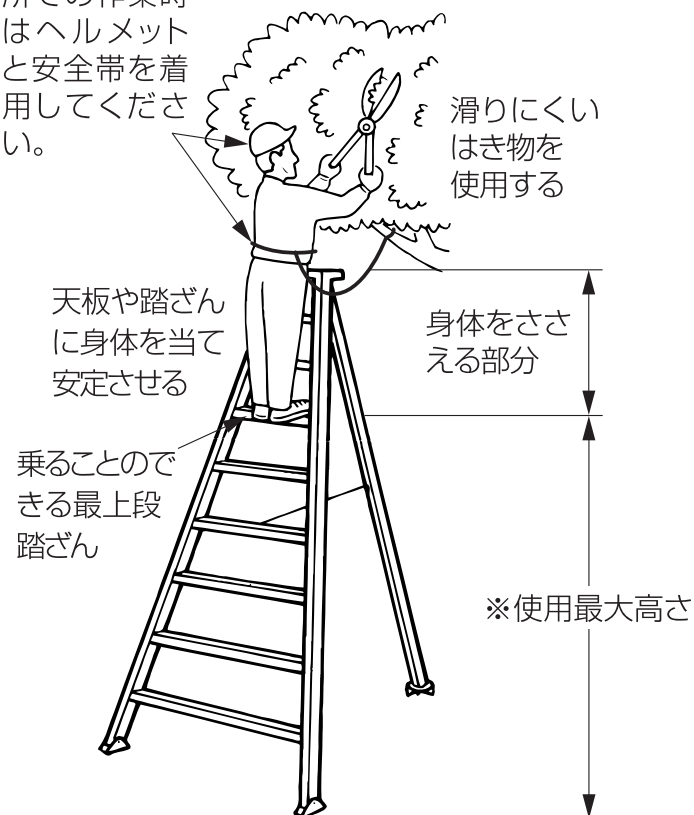
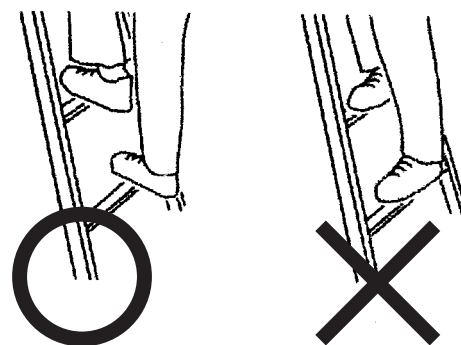
❷折りたたんだ脚立は、後支柱を上にして地面に寝かせます。

❸次に、後支柱を収納金具に固定します。
収納金具がない製品は、後支柱が動かないように開き止め（チェーン等）で踏ざんに固定してください。

⚠警告

開閉は、慎重にゆっくり行ってください。
乱暴にしますと変形や破損の原因になります。

4.後支柱の長さ調整のしかた

脚立が3m以上や重い場合は2人で行ってください。
脚立を傾斜地に設置するときは、傾斜地に合わせて後支柱の長さを調整して設置してください。
この調整は、調整金具を操作して行ってください。

5.開き止め（チェーン等）の固定のしかた

前支柱と後支柱をそれぞれ約75度に設置した後、開き止め（チェーン等）がたるまないように、掛け金具に固定してください。

6.昇りかた・降りかた・作業の しかた

- 昇る前に、①後支柱の調整金具が確実にロックされていること、②開き止め（チェーン等）が確実に掛かり外れないことを確認してください。
- 運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。
- 身体の前面を脚立に向け、両手両足を使って、慎重に昇り降りしてください。
- 荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにしてください。
- **脚立の上で作業するときは、「ここにのること禁止」のラベルの貼ってない踏ざんに立ち、天板や踏ざんに身体を当て、安定させた状態で作業してください。**
- 脚立の上で作業するときは、脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。
- 降りるときは、飛び降りずに1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏みざんまで使って慎重に降りてください。
- 踏ざんに乗るときには、図のように足を掛けてください。
- 脚立を移動するときは、脚立から地上に降りて移動してください。

※使用最大高さ:乗ることができる最大の高さ

使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

脚立にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

❶ 汚れは、濡れぞうきんできれいに拭き取ってください。

❷ 汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。

❸ 油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていますと腐食の原因になります。

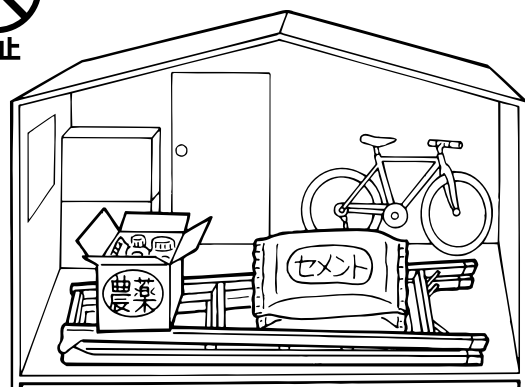
2. 保管のしかた

❶ 雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。

❷ 本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

⚠注意

- **保管中は、本製品の上に物を置かないでください。変形の原因になります。**
- **農薬やセメント･石灰の近くに本製品を置きますと、化学反応を起こして腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。**

禁止

「故障かな？」と思ったら（不調診断）

〈現象〉　・使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏ざんの接合部に、ひび割れや亀裂がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
後支柱の可動部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉　• 開き止め（チェーン等）や調整金具が確実に掛からない。

点検する箇所	処置のしかた
開き止め（チェーン等）や掛け金具が破損・変形・脱落していませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
調整金具に、機能がそこなわれるような破損や変形、サビ付きがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉　• 脚立がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
後支柱や可動部に変形やサビ付きがありませんか。	ある場合は可動部に注油してください。 機能がそこなわれるようないちじるしいサビ付きがある場合は、使わないで廃棄してください。

〈現象〉　• 水平な場所に設置したのに踏ざんが傾く。

点検する箇所	処置のしかた
滑り止め（滑り止めユニット）や支柱の下部が曲がっていませんか。	曲がっているときは、使わないで廃棄してください。
全体に大きく変形していませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
踏ざんに曲がりや変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

⚠警告

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落による人身事故の原因になります。